

## 新年のご挨拶

金融保険部会 部長／理事  
MUFG BANK, LTD  
Executive Officer, Country Head of Singapore  
疋田 智一



新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては健やかに新春を迎えられましたこととお慶び申し上げます。本年もよろしくお願い申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、久方ぶりに、一年を通して、様々なイベントを新型コロナウイルス（COVID-19）感染拡大前と同様に実施することができた一年でありました。長い間停滞が続いてきた日本経済も、デフレからインフレへの確かな転換、人的資本投資への前向きなモメンタム、そして国内外企業による国内投資の積極化など、新たな成長への足音が聞こえてきています。金利正常化への道筋も漸く見えてきました。

他方、世界に目を転じますと、マーケットに大きな影響を与えてきた2022年以降の急激な金融引き締めは、最終局面にきています。今後、引き締め効果の累積によるインフレ鎮静化を経て、巡航速度の成長軌道へと回帰していくのがメインシナリオです。但し、コロナ後の繰越需要一巡、政策移行に伴う様々な反動、米中対立やウクライナ/パレスチナに象徴される国際情勢の不安定化、そしてGX/DXといった構造変化が新常态として定着する中、先読みは依然難しく、市場のボラティリティを高める可能性には留意が必要です。

しかし考えてみますと、こうした分断や不確実性の時代であるからこそ、私ども金融・保険のチカラが必要とされている、とも言えるのではないのでしょうか。今、あらゆる企業が新たなビジネスモデルに挑戦しようとしています。そこで求められるのは、ファイナンス、保険、決済、資産運用、クロスボーダー取引といった金融・保険本来の機能に加えて、アジアのハブであるここシンガポールから世界各国をつなぐ情報提供力、事業を共に創造する力、そしてそれを支える人材力です。長い歴史の中で培ってきた信頼・信用を礎としつつ、新たな価値を提供し続けることで、お客さまや社会から支持され続ける金融・保険業界でありたいと思います。

さて、昨年の金融・保険部会の活動ですが、4月の部会総会から対面で実施することができました。事務局の皆さんに取り纏めていただいたアンケート結果に沿って、7月に部会懇親会「カクテルナイト@JASラウンジ」、9月に第三工業部会との共催で「風水ツアー&夕食懇親会」を開催。11月には、3

メガバンク専門家によるウェビナー（パネルディスカッション）「アジア経済の展望 ～気になる為替動向、中国・インド経済の行方は？～」を開催し、JCCI会員企業を中心に140名を上回る視聴者にリアルタイムでご参加いただきました。これからも、シンガポールに集う金融・保険各社をつなぐ架け橋として様々な活動を行うとともに、JCCIの皆様全体に対しても、私ども金融・保険を生業とする者ならではのイベントを企画して参ります。

最後になりますが、本年が皆様にとりまして素晴らしい年となることを心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



金融・保険部会主催パネルディスカッション



部会懇親会「カクテルナイト@JASラウンジ」